

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公表番号】特表2008-507759(P2008-507759A)

【公表日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2007-522524(P2007-522524)

【国際特許分類】

G 06 K 7/10 (2006.01)

【F I】

G 06 K 7/10 N

G 06 K 7/10 R

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月4日(2008.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インディシアを読み取るための電気光学読取器におけるレーザパワー制御装置であって

a) 出力パワーを有するレーザビームを生成するためのレーザと、  
 b) 可動走査構成部品と、  
 c) 走査線を用いて、該インディシアを横切って該レーザビームを走査するための該走査構成部品を動かすための駆動部と、  
 d) 該読取器の動作状態をモニタし、かつ該動作状態が所定の状態でないときに読取器の誤動作を検出するためのモニタと、  
 e) 該読取器の誤動作の検出時に該レーザの該出力パワーを制御し、かつ該インディシアが正常に読み取られたことの視覚的表示としての役割を果たすために、該インディシアが読み取られた後に該インディシア上に該走査線を点滅させるために該レーザを繰り返し不活性化および活性化するためのコントローラと  
 を備える、装置。

【請求項2】

前記コントローラは、前記レーザ動作状態が所定の設定でないときには、該レーザを不活性化するように動作可能である、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記レーザに対する前記所定の設定は、レーザ電流レベルの範囲およびレーザパワーレベルの範囲のうちの一つであり、かつ前記コントローラは、前記レーザ動作状態が該範囲のうちの一つの外にあるときには、該レーザを不活性化するように動作可能である、請求項2に記載の装置。

【請求項4】

インディシアを読み取るための電気光学読取器におけるレーザパワー制御方法であって

a) レーザを用いて、出力パワーを有するレーザビームを生成するステップと、  
 b) 走査線を用いて、該インディシアを横切る該レーザビームを走査するステップと、  
 c) 該読取器の動作状態をモニタし、かつ該動作状態が所定の状態と異なるときに読取

器の誤動作を検出するステップと、

d ) 該読取器の誤動作を検出時に該レーザの該出力パワーを制御するステップと、  
e ) 該インディシアが正常に読み取られたことの視覚的表示としての役割を果たすために、該インディシアが読み取られた後に該インディシア上に該走査線を点滅させるために該レーザを繰り返し不活性化および活性化するステップと  
を包含する、方法。

【請求項 5】

前記制御するステップは、前記レーザ動作状態が所定の設定でないときに前記レーザを不活性化することによって行われる、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

インディシアを読み取るための電気光学読取器におけるレーザ出力制御装置であって、  
a ) 出力パワーを有するレーザビームを生成するためのレーザダイオードと、モニタフォトダイオードとを含むレーザと、  
b ) 該フォトダイオードの動作状態をモニタし、かつ該フォトダイオードの動作状態が所定の状態と異なるときレーザダイオード誤動作を検出するためのモニタと、  
c ) 該フォトダイオード動作状態が所定の設定でないとき該レーザダイオードを不活性化することによる該レーザダイオードの誤動作の検出時に該レーザダイオードの該出力パワーを制御するためのコントローラと  
を備えている、装置。

【請求項 7】

インディシアを読み取るための電気光学読取器におけるレーザ出力制御方法であって、  
a ) レーザダイオードとモニタフォトダイオードとに含まれるレーザを用いて出力パワーを有するレーザビームを生成するステップと、  
b ) 該モニタフォトダイオードの動作状態をモニタし、かつ該フォトダイオードの動作状態が所定の状態と異なるときレーザダイオードの誤動作を検出するステップと、  
c ) 該フォトダイオードの動作状態が所定の設定と異なるときの該レーザダイオードを不活性化することによる該レーザダイオードの誤動作の検出時に、該レーザダイオードの該出力パワーを制御するステップと  
を包含する、方法。

【請求項 8】

インディシアを読み取るための電気光学読取器におけるレーザ出力制御装置であって、  
a ) 出力パワーを有するレーザビームを生成するためのレーザと、  
b ) 該読取器の動作状態の温度をモニタし、かつ該温度動作状態が所定の状態と異なるときにレーザの誤動作を検出するためのモニタと、  
c ) 該温度動作状態が所定の設定ではないときの該レーザを不活性化することによる該レーザの誤動作の検出時に、該レーザの該出力パワーを制御するためのコントローラと  
を備えている、装置。

【請求項 9】

インディシアを読み取るための電気光学読取器におけるレーザ出力制御方法であって、  
a ) レーザを用いて、出力パワーを有するレーザビームを生成するステップと、  
b ) 該読取器の温度の動作状態をモニタし、かつ該温度動作状態が所定の状態と異なるときレーザの誤動作を検出するステップと、  
c ) 該温度動作状態が所定の設定ではないときの該レーザを不活性化することによる該レーザ誤動作の検出時に、該レーザの該出力パワーを制御するステップと  
を包含する、方法。